

(No. 7) 金津高等学校



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー-The Real British Secondary School Days	ブレディみかこ	新潮社	1,485 円

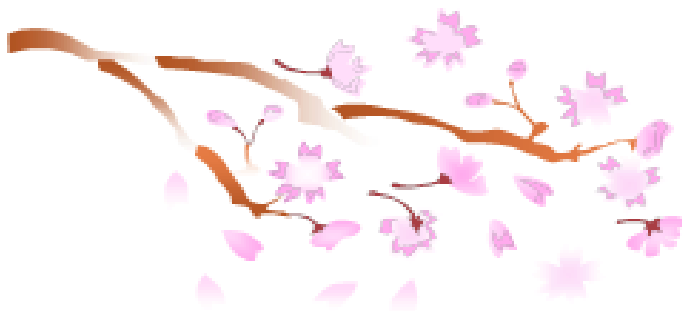
推薦図書の説明

ブライトンの超エリート小学校から元底辺中学校に進学した“ぼく”。その学校で“ぼく”は数々のことにおち当たる。レイシズム、貧困、LGBTQ、落ち込むこともあるけれどおち当たりながら成長する“ぼく”と“かあちゃん”の物語。多様性とは何か、共感とは何か、グローバル化していく社会の現実を切り取った作品。いま世界で何が起きているか君は知っているか。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	10代にしておきたい17のこと	本田健	大和書房	628 円

推薦図書の説明

自分とは何者で、何をどうするべきなのか。成長してほしい、大人になってほしい、周りからそう言われることはあるけれど、大きな返事はしてみたものの、実際に何をどうしたらいいのかわからない。何がわからないかもわからない。両親・親友・疑い・感情・好き嫌い・お金、そして恋…二度と戻らない10代を後悔しないために。



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【3】	ドーナツを穴だけ残して食べる方法 越境する学問—穴からのぞく大学講 義	大阪大学ショセキ カプロジェクト	大阪大学 出版会	1,650 円

推薦図書の説明

「ドーナツを穴だけ残して食べる方法」という普通に考えれば無理だと思うテーマに対して、工学・美学・数学などの視点から、大阪大学の先生方が本気で答えるというユニークな本。各々の学問のスペシャリスト達が「ドーナツの穴」という切り口から自分の専門分野について紹介するため、きっと自分がおもしろいと思える分野が見つかるだろう。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【4】	恋する伊勢物語	俵万智	ちくま文庫	594 円

推薦図書の説明

『伊勢物語』は平安時代に成立した歌物語で、高校の国語の授業で学ぶ機会の多い作品です。古文というと、とっつきにくい印象がある人もいるかもしれませんが、ここで紹介する『恋する伊勢物語』を読めば、古文の世界を身近に感じることができます。歌人である作者の独特な視点からの和歌の解釈、恋愛観、自作の和歌、古典常識といった、楽しめて勉強になる内容が盛りだくさんの本です。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【5】	パンドラの匣	太宰治	新潮社	572 円

推薦図書の説明

君は『走れメロス』を覚えているかい？リズムよく流れる日本語を思い出してほしい。今春、新しい太宰作品に出逢おう。療養中の少年が親友に送った複数の手紙には、少年の日常が綴られている。手紙によれば、少年は療養先で仲間と前向きに、実に前向きに過ごしている。彼の姿が、君にはどう映るだろうか。